

雫石地区の実践活動

平成30年度

平成30年度、雫石地区では4つの実践・チーム活動が行われました。

「産直応援隊」

地域の産直農家さんを応援する“産直応援隊”チーム。今年度最大の活動はボランティアフェスティバルへの参加。産直農家さんが持ち寄ってくださった雫石産のとれたて野菜を応援隊メンバーが販売。新鮮な野菜たちはあっという間に売り切れてしまいました。改めて雫石の野菜の種類の多さと美味しさを感じさせられました。

「トレジャーハンター尋宝人（シュンパオレン）」

20年後も残したい地域のお宝を探し、お宝カレンダーとして発行している尋宝人チーム。平成30年4月から平成31年1月まで10行政区のお宝カレンダーを発行いたしました。2月以降はいったんカレンダーの発行をお休みし、取材活動を中心とした地域の交流を目的に、お宝探しを行う予定です。

「しずくいし雪灯り&はしご酒」

にぎわいの創出や交流を目的にして活動している雪灯りチーム。今年度はよしゃれ通り周辺JV.と共催で「雪灯り&はしご酒」を開催いたしました。中学生の部活動を巻き込んだ商店街の除雪活動や、子ども会に雪灯りの経木に絵を描いてもらったり、産直応援隊チームと一緒にスープカレーを作ったり、チームの垣根を越えた一大イベントとなりました。

「みんなに優しい道づくり」

地域の安全点検や危険個所のマップへの落とし込みを実施してきた道づくりチーム。今年度は「よしゃれ通り推進会議」や「よしゃれ通り活性化委員会」と共に、みんなに優しい道づくりを目指して活動を行いました。8月の軽トラ市では、大雨の中、よしゃれ通りの歩道幅実証実験などを行いました。

